

佳
作

地球を守る森林

鹿沼市立南摩小学校五年

酒井 奏

今年の夏休みは、豪雨や猛暑が続いていて「地球温暖化」と関係があるのではないかとニュース等でもよく取り上げられています。

地球温暖化の現象をくい止めるには、原因となる二酸化炭素やフロンガスの排出量を少なくする事と二酸化炭素を吸収してくれる森林をたくさん残すなどの努力をする事だと言われています。

森林は、地面に水分をいっばいたくわえる事で、ダムのような働きをしてくれています。川の水が少なくなったり、多くなりすぎて洪水が起こったりするのを防いでいるそうです。だから、切り倒して開発しすぎると土砂くずれや洪水が起きます。森林に降った雨は地面にしみ込んでたくわえられた後少しづつしみ出して川へ流れ出します。川となって海に流れ出た水は、太陽の熱で温められて蒸発して雲となり、再び大地に雨となって降り注ぎます。森林↓大地↓海↓空はつながっているんです。

三年の時に国語の教科書にのっていた「里山は、未来の風景」という話がありました。作者と自然が、仲良く共存できる場所、「里山」が、いつまでも残ってほしい、そして少しでもふえてほしいと言っ願いを思い出しました。その時は、作者と同じく里山を思う人がたくさんいれば里山は、必ず未来の風景になると感じました。

南摩小も三年前に豪雨の被害にあっています。今、「地球温暖化」をくい止めて豪雨や猛暑などの自然災害をふせぐ為には、森林を守ることが大切だと感じています。森林を守ることこそ地球を守ることだと思いました。

